

交付運用報告書

損保ジャパン-TCW外国株式ファンド Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式

作成対象期間（2015年7月16日～2016年7月15日）

第18期（決算日 2016年7月15日）

受益者のみなさまへ

第18期末（2016年7月15日）		
	Aコース(為替ヘッジあり)	Bコース(為替ヘッジなし)
基準価額	7,681円	9,949円
純資産総額	1,188百万円	1,443百万円
騰落率※	△8.1%	△20.6%
期中分配金合計	0円	0円

※騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「損保ジャパン-TCW外国株式ファンド（Aコース・Bコース）」は、このたび第18期の決算を行いました。

各ファンドは、日本を除く世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、各ベンチマーク（Aコース：MSCIコクサイインデックス（100%為替ヘッジ）・Bコース：MSCIコクサイインデックス（円換算ベース））を中長期的に上回る運用成果を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧方法>

右記URLにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

お問い合わせ先

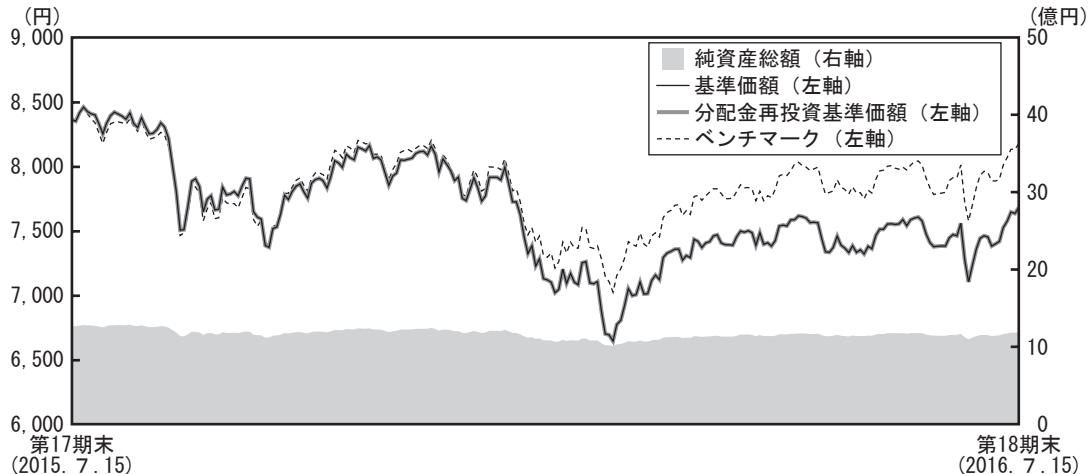


クライアントサービス第二部 0120-69-5432
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

運用経過

■ 基準価額の推移

(Aコース (為替ヘッジあり))



第18期首 : 8,361円

第18期末 : 7,681円 (期中分配金合計0円)

騰落率 : Δ 8.1% (分配金再投資基準価額ベース)

- ・ 分配金再投資基準価額およびベンチマーク (MSCI コクサイ インデックス (100%為替ヘッジ)) の推移は、2015年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・ 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・ 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

(Aコース (為替ヘッジあり))

実質的な投資対象である損保ジャパンTCW外国株式マザーファンドにおいて、保有する株式の価格が下落したことにより、当ファンドの基準価額が下落しました。

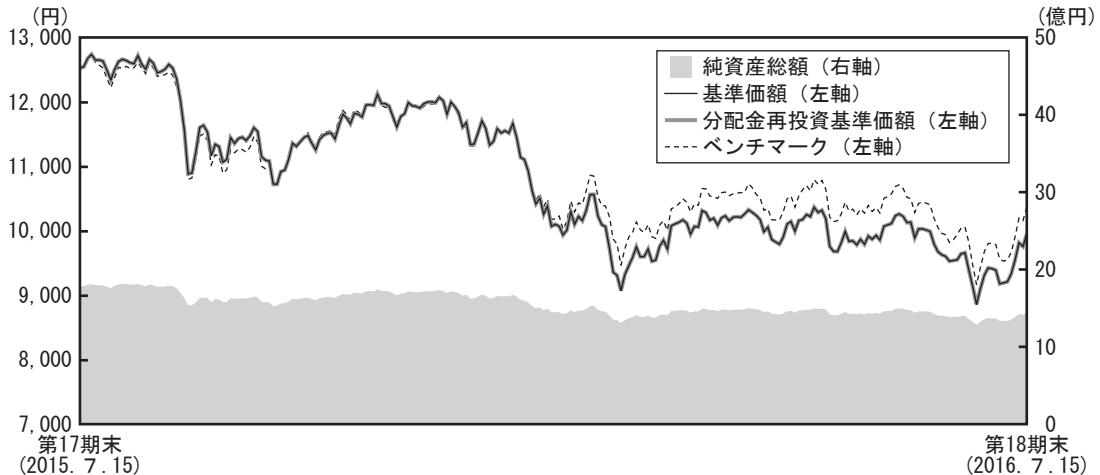
(損保ジャパンTCW外国株式マザーファンド)

期中の騰落率は -19.1% となりました。

ファンドで保有する株式の価格下落に加えて、円高・ドル安等の為替要因がマイナスに寄与しました。

■ 基準価額の推移

(Bコース (為替ヘッジなし))



第18期首：12,524円

第18期末：9,949円 (期中分配金合計0円)

騰落率：△20.6% (分配金再投資基準価額ベース)

- ・分配金再投資基準価額およびベンチマーク (MSCI コクサイ インデックス (円換算ベース)) の推移は、2015年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

(Bコース (為替ヘッジなし))

実質的な投資対象である損保ジャパンーTCW外国株式マザーファンドにおいて、保有する株式の価格が下落し、保有通貨が概ね対円で下落したことから、当ファンドの基準価額が大きく下落しました。

(損保ジャパンーTCW外国株式マザーファンド)

期中の騰落率は-19.1%となりました。

ファンドで保有する株式の価格下落に加えて、円高・ドル安等の為替要因がマイナスに寄与しました。

■ 1 万口当たりの費用明細
 (A コース (為替ヘッジあり))

項目	第18期		項目の概要
	(2015年7月16日~2016年7月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	157円	2.052%	$(a) \text{ 信託報酬} = \frac{\text{各期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率 (年率)} \times \text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,640円です。 ファンドの運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(投信会社)	(78)	(1.026)	
(販売会社)	(70)	(0.918)	
(受託会社)	(8)	(0.108)	
(b) 売買委託手数料	8	0.105	$(b) \text{ 売買委託手数料} = \frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(8)	(0.102)	
(投資証券)	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	1	0.012	$(c) \text{ 有価証券取引税} = \frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(1)	(0.012)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	10	0.130	$(d) \text{ その他費用} = \frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用 監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用 (法定書類等の作成等に要する費用を含みます。)
(保管費用)	(6)	(0.074)	
(監査費用)	(4)	(0.054)	
(その他)	(0)	(0.003)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	176	2.299	

(注1) 期中の費用 (消費税のかかるものは消費税を含む) は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(Bコース (為替ヘッジなし))

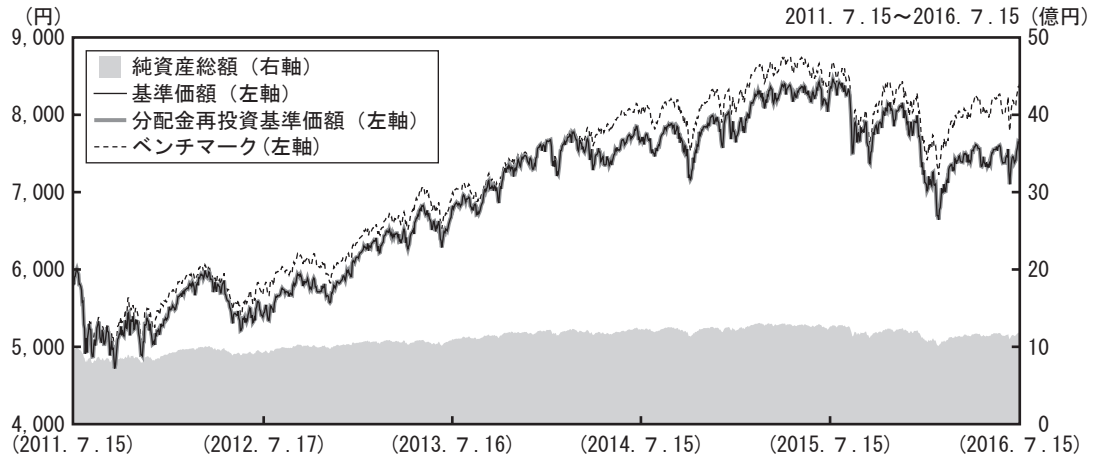
項目	第18期		項目の概要
	(2015年7月16日~2016年7月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	221円	2.052%	(a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,790円です。 ファンドの運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(投信会社)	(111)	(1.026)	
(販売会社)	(99)	(0.918)	
(受託会社)	(12)	(0.108)	
(b) 売買委託手数料	11	0.105	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(11)	(0.103)	
(投資証券)	(0)	(0.003)	
(c) 有価証券取引税	1	0.012	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(1)	(0.012)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	14	0.130	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用 監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用 (法定書類等の作成等に要する費用を含みます。) 信託事務の処理にかかるその他の費用等
(保管費用)	(8)	(0.073)	
(監査費用)	(6)	(0.054)	
(その他)	(0)	(0.003)	
合計	248	2.300	

(注1) 期中の費用 (消費税のかかるものは消費税を含む) は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■最近5年間の基準価額等の推移 (Aコース(為替ヘッジあり))

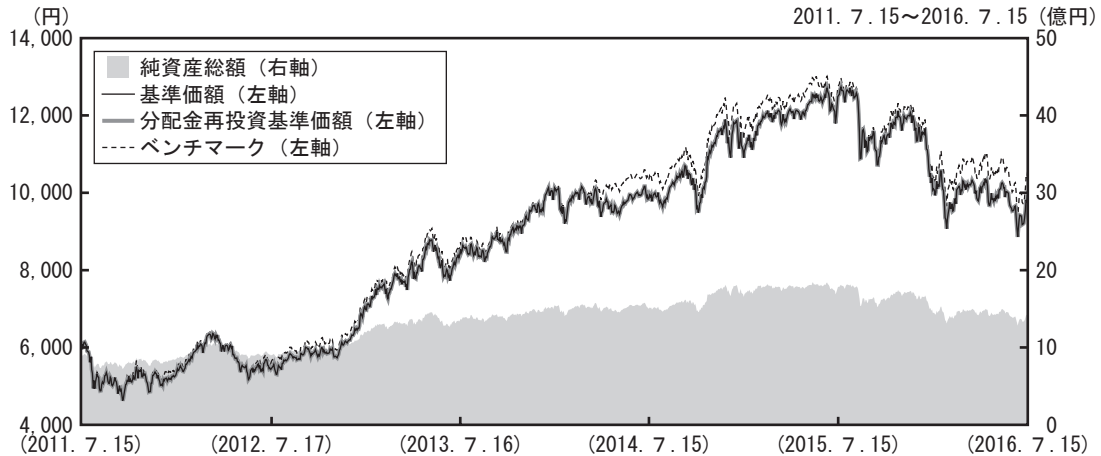


- ・分配金再投資基準価額およびベンチマーク (MSC I コクサイ インデックス (100%為替ヘッジ)) の推移は、2011年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

決算日	2011年7月15日 決算日	2012年7月17日 決算日	2013年7月16日 決算日	2014年7月15日 決算日	2015年7月15日 決算日	2016年7月15日 決算日
基準価額 (円)	5,848	5,435	6,824	7,707	8,361	7,681
期中分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 7.1	25.6	12.9	8.5	△ 8.1
ベンチマーク騰落率 (%)	—	△ 1.8	21.9	15.3	6.6	△ 2.2
純資産総額 (百万円)	969	932	1,100	1,232	1,266	1,188

ベンチマークは、MSC I コクサイ インデックス (100%為替ヘッジ) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(Bコース (為替ヘッジなし))



- ・分配金再投資基準価額およびベンチマーク (MSCI コクサイ インデックス (円換算ベース)) の推移は、2011年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

決算日	2011年7月15日 決算日	2012年7月17日 決算日	2013年7月16日 決算日	2014年7月15日 決算日	2015年7月15日 決算日	2016年7月15日 決算日
基準価額 (円)	6,007	5,460	8,543	9,940	12,524	9,949
期中分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 9.1	56.5	16.4	26.0	△ 20.6
ベンチマーク騰落率 (%)	—	△ 6.1	54.5	19.8	22.4	△ 17.2
純資産総額 (百万円)	886	900	1,369	1,516	1,785	1,443

ベンチマークは、MSCI コクサイ インデックス (円換算ベース) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

■投資環境

○米国株式市場

米国株式市場は、期初は概ね横ばいで推移した後、8月に入ると中国人民元の切り下げにより中国景気の先行き不透明感が強まったことを受け、大きく下落しました。

10月には、予想を下回る米国の雇用統計を受け早期の利上げ懸念が後退したこと、ECB（欧州中央銀行）による追加金融緩和期待が高まったことに加え、中国人民銀行（中央銀行）による金融緩和策が好感され反発し、その後は年末にかけて横ばい圏で推移しました。

1月に入り、中国本土株式市場や原油価格の急落をきっかけに米国株式市場も大きく下落しましたが、2月以降は原油等の商品市況の回復に伴い反発しました。その後は6月に英国のEU（欧州連合）離脱が決定したものの影響は限定的となり、期末にかけて底堅く推移しました。

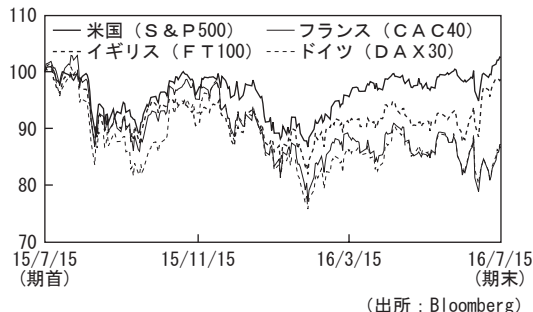
○欧州株式市場

欧州株式市場は、期初は概ね横ばいで推移した後、8月に中国人民元の切り下げが発表されたことで、中国経済への依存度が高いと目されるドイツなどを中心に株式市場は大きく下落しました。

その後は米国の早期利上げ懸念の後退やECBによる追加緩和期待などから株価が反発した後、年末にかけて横ばい圏で推移しました。

年明け以降は中国本土株式市場や原油価格の下落に加え、欧州の一部銀行の経営不安が懸念され下落した後、原油価格の回復に伴い投資家心理が改善し株式市場も反発しました。6月には英国のEU離脱決定を受け一時的に下落したものの、イギリス・ポンドの急落が英国株式市場に好感されたことに加え、各国の政策期待などから期末にかけて底堅く推移しました。

主要株価指数の推移



(注) 期首を100として、委託会社にて指数化したものを使用しております。

○アジア株式市場

アジア株式市場は期初から予想を下回る中国の経済指標を受け下落基調となった後、8月に中国人民元の切り下げが発表されたことから中国景気に対する先行き不透明感が強まり、大きく下落しました。

10月には米国の早期利上げ懸念が後退したことや、予想を上回る中国の経済指標が発表されたことを受け反発し、その後は年末にかけて横ばい圏で推移しました。

1月には、中国本土株式市場や原油価格の下落を受けアジア株式市場も大きく下落しましたが、原油価格の反発や米国の追加利上げ懸念の後退を受け徐々に値を戻しました。6月に英国がEU離脱を決定したことによるアジア株式市場への影響は限定的となった一方で、米国の追加利上げ懸念が後退したことが好感され、期末にかけて堅調に推移しました。

○為替市場

当期の為替市場は、米国で12月に利上げが実施されたものの、その後の追加利上げ観測が後退したことを受け米ドルが対円で大きく下落しました。ユーロは、ECBによる量的緩和の実施を受け対円で大きく下落しました。

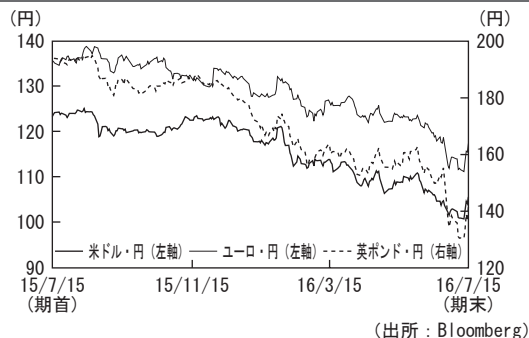
また、英国ポンドは6月に英国のEUからの離脱決定を受け先行き不透明感が広がり、対円で大きく下落しました。

その他の主要通貨においても、円が相対的に買われる展開の中で、対円で下落しました。

主要株価指数の推移



為替レートの推移



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

■当該投資信託のポートフォリオ

(Aコース(為替ヘッジあり))

期を通して、損保ジャパンT CW外国株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率(対純資産総額比)は100.4%です。また、実質外貨建資産については為替ヘッジを行っています。

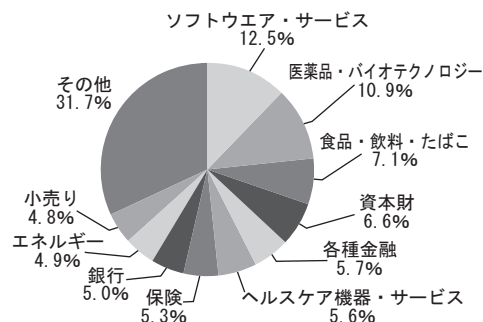
(Bコース(為替ヘッジなし))

期を通して、損保ジャパンT CW外国株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率(対純資産総額比)は99.2%です。

(損保ジャパンT CW外国株式マザーファンド)

期を通して株式等の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率(対純資産総額比)は、93.1%です。

損保ジャパンT CW外国株式マザーファンドの業種別構成比率



(注1) 比率は、第18期末における外国株式の評価総額に対する各業種の評価額の割合。

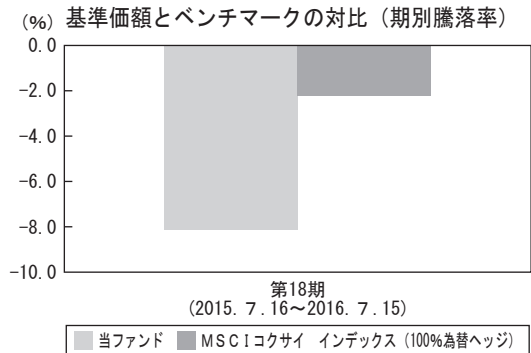
(注2) 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

(Aコース(為替ヘッジあり))

当ファンドの騰落率(分配金再投資基準価額ベース)は、ベンチマーク(MSCIコクサイインデックス(100%為替ヘッジ))の騰落率(-2.2%)を5.9%下回りました。

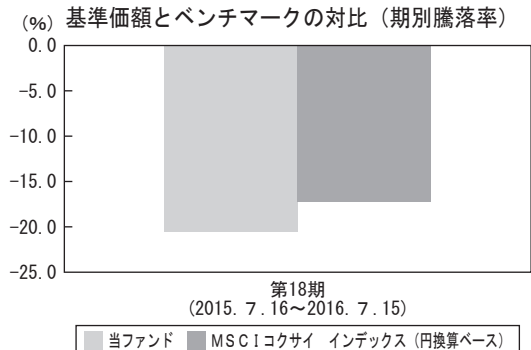
市場配分要因がプラスに寄与した一方、銘柄選択要因がマイナスに寄与しました。



(Bコース(為替ヘッジなし))

当ファンドの騰落率(分配金再投資基準価額ベース)は、ベンチマーク(MSCIコクサイインデックス(円換算ベース))の騰落率(-17.2%)を3.3%下回りました。

市場配分要因がプラスに寄与した一方、銘柄選択要因がマイナスに寄与しました。



(損保ジャパン-T CW外国株式マザーファンド)

マザーファンドの騰落率は、ベンチマーク(MSCIコクサイインデックス(円換算ベース))の騰落率(-17.2%)を1.8%下回りました。

市場配分要因がプラスに寄与した一方、銘柄選択要因がマイナスに寄与しました。

■分配金

(Aコース (為替ヘッジあり))

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

<分配原資の内訳>

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第18期
	2015年7月16日～2016年7月15日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,273

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税引前)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(Bコース (為替ヘッジなし))

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

<分配原資の内訳>

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第18期
	2015年7月16日～2016年7月15日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,312

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税引前)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■今後の運用方針

（Aコース（為替ヘッジあり））

引き続き「損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を除く世界の株式に分散投資することで、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。なお、原則として実質外貨建資産については100%為替ヘッジを行います。

（Bコース（為替ヘッジなし））

引き続き「損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を除く世界の株式に分散投資することで、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。なお、同コースについては原則として為替ヘッジを行いません。

（損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド）

外国株式市場は英国のEU離脱決定の影響を受け一時的にボラティリティが高まったものの、株価は足元で安定しています。一方で米国の早期の利上げ観測が後退している現状においては、低金利環境下で高い成長と安定したキャッシュフローが見込める企業に注目しています。

当ファンドは各ストラテジーの投資比率を適宜調整し、個別企業のファンダメンタルズ分析に注力し、いずれの景気局面においても恩恵を十分に受けられるポートフォリオを構築してまいります。

■お知らせ

損保ジャパンＴＣＷ外国株式ファンドＡコース（為替ヘッジあり）

損保ジャパンＴＣＷ外国株式ファンドＢコース（為替ヘッジなし）

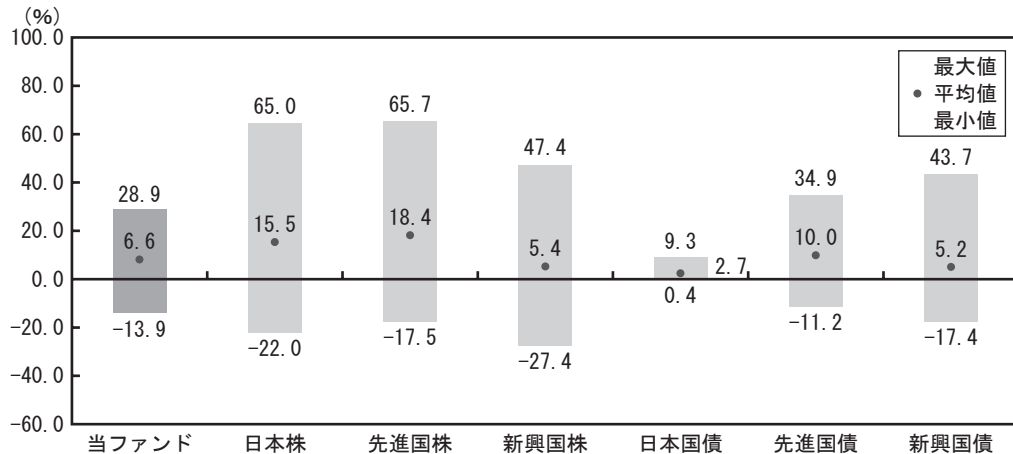
○投資信託証券への実質投資割合を信託財産の純資産総額の５％以内とする件につき、親投資信託受益証券および上場投資信託証券ならびに信託財産に既に組み入れていた株式等が転換等により投資信託証券に該当することとなった投資信託証券を除くため、投資信託約款に所要の変更を行いました（2015年10月15日）。

■当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	中長期的に信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。	
主要投資対象	損保ジャパンＴＣＷ外国株式ファンド Ａコース（為替ヘッジあり）	「損保ジャパンＴＣＷ外国株式マザーファンド」受益証券
	損保ジャパンＴＣＷ外国株式ファンド Ｂコース（為替ヘッジなし）	
	損保ジャパンＴＣＷ外国株式 マザーファンド	日本を除く世界各国の株式
運用方法	<p>①日本を除く世界各国の株式を実質的な主要投資対象とします。</p> <p>②「Ａコース（為替ヘッジあり）」 MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る運用成果を目指します。</p> <p>「Ｂコース（為替ヘッジなし）」 MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る運用成果を目指します。</p> <p>③各ファンドのマザーファンドである「損保ジャパンＴＣＷ外国株式マザーファンド」の運用スタイル毎のアロケーションと北米株式の運用の指図に係る権限を、米国のTCW INVESTMENT MANAGEMENT COMPANYに委託します。</p>	
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みません。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、基準価額水準、市場動向等によっては分配を行わないことがあります。</p>	

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(A コース (為替ヘッジあり))



期間：2011年7月～2016年6月

* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

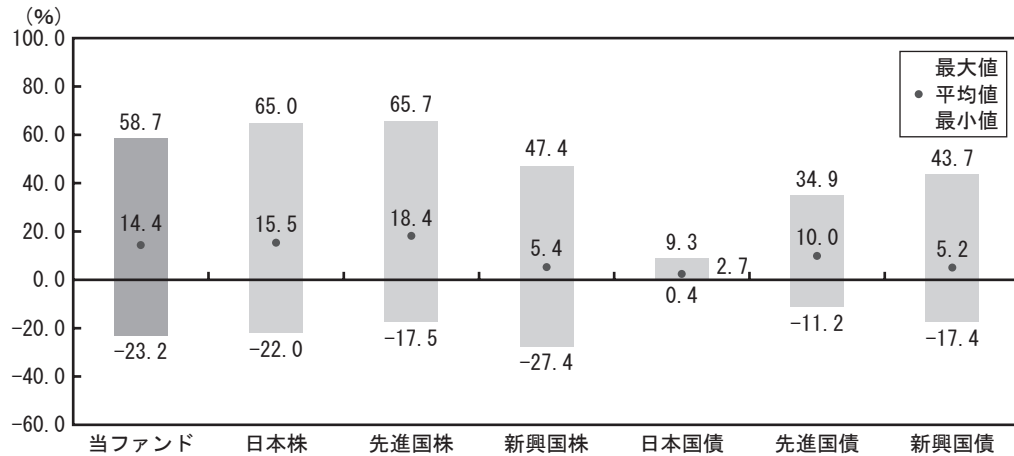
新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

- ・当ファンドについては、分配金 (税引前) 再投資基準価額の騰落率です。
- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

(Bコース (為替ヘッジなし))



期間：2011年7月～2016年6月

* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

- ・当ファンドについては、分配金 (税引前) 再投資基準価額の騰落率です。
- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

○組入ファンド

（Aコース（為替ヘッジあり））

	第18期末
	2016年7月15日
損保ジャパン-T CW外国株式マザーファンド	100.4%

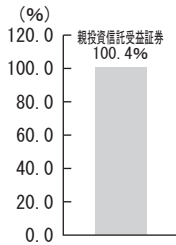
（Bコース（為替ヘッジなし））

	第18期末
	2016年7月15日
損保ジャパン-T CW外国株式マザーファンド	99.2%

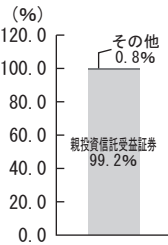
（注）比率は第18期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

○資産別配分

（Aコース）

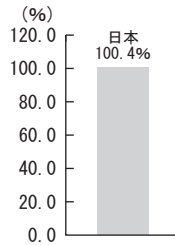


（Bコース）

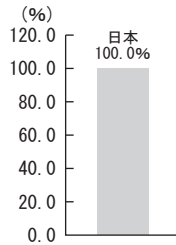


○国別配分

（Aコース）

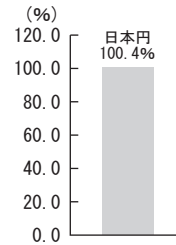


（Bコース）

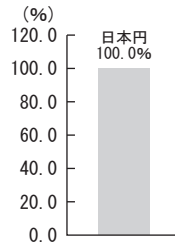


○通貨別配分

（Aコース）



（Bコース）



（注）比率は第18期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

（Aコース（為替ヘッジあり））

項目	第18期末
	2016年7月15日
純資産総額	1,188,819,965円
受益権総口数	1,547,792,404口
1万口当り基準価額	7,681円

※当期中における追加設定元本額は218,599,979円、同解約元本額は185,876,632円です。

（Bコース（為替ヘッジなし））

項目	第18期末
	2016年7月15日
純資産総額	1,443,252,580円
受益権総口数	1,450,583,278口
1万口当たり基準価額	9,949円

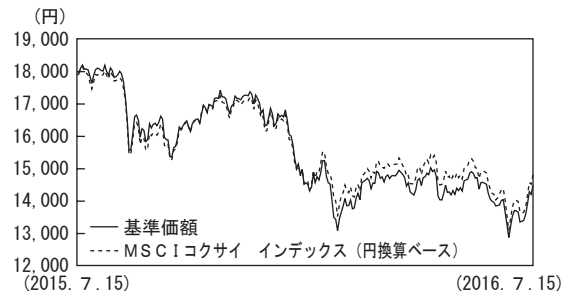
※当期中における追加設定元本額は229,995,139円、同解約元本額は205,268,298円です。

■組入上位ファンドの概要

※組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過および全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<損保ジャパン-T CW外国株式マザーファンド>

○基準価額の推移



・ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の推移は、2015年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

○1万口当たりの費用明細

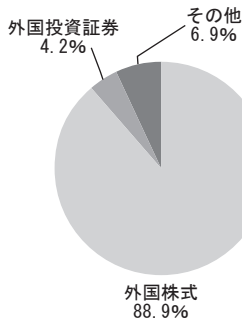
(2015年7月16日～2016年7月15日)

項目	
売買委託手数料 (株式)	17円 (16)
(投資証券)	(0)
有価証券取引税 (株式)	2 (2)
(投資証券)	(0)
その他費用 (保管費用)	12 (12)
(その他)	(0)
合計	31

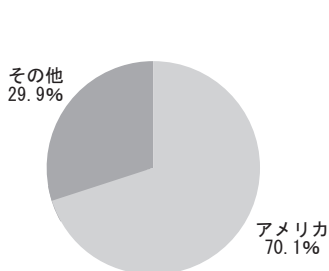
○組入上位10銘柄

	銘柄名	業種	通貨	比率
1	ALPHABET, INC	情報技術	アメリカ・ドル	2.0%
2	CHUBB LTD	金融	アメリカ・ドル	1.8%
3	FACEBOOK INC-A	情報技術	アメリカ・ドル	1.7%
4	CVS HEALTH CORPORATION	生活必需品	アメリカ・ドル	1.7%
5	VISA INC-CLASS A SHARES	情報技術	アメリカ・ドル	1.7%
6	SALESFORCE.COM INC	情報技術	アメリカ・ドル	1.7%
7	AMERICAN TOWER CORP	金融	アメリカ・ドル	1.6%
8	PEPSICO INC	生活必需品	アメリカ・ドル	1.5%
9	CELGENE CORP	ヘルスケア	アメリカ・ドル	1.3%
10	COMCAST CORP-CL A	一般消費財・サービス	アメリカ・ドル	1.2%
組入銘柄数			263銘柄	

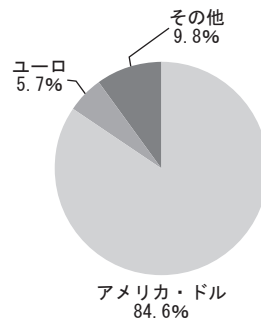
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については3ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2016年7月15日）現在のものです。資産別配分および国別配分のその他には、現金等が含まれます。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■ 指数に関して

○ 当ファンドのベンチマークである「MSCI コクサイ インデックス」について

MSCI コクサイ インデックスとは、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。MSCI コクサイ インデックス (100% 為替ヘッジ) および MSCI コクサイ インデックス (円換算ベース) は、MSCI コクサイ インデックス (米ドルベース) をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

○ 「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) とは、東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時 (1968年1月4日終値) の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数 (TOPIX) は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース) は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPI に関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村証券株式会社に帰属します。野村証券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。また、Citigroup Index LLCは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

J P モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

J P モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイドは、J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。



損保ジャパン日本興亜
アセットマネジメント